

# 授与動詞「ヤル」「アゲル」の歴史的変遷

国語国文学専修 国語学コース 文21-0045 石橋恒乃

## 目次

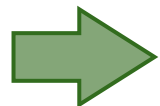
- 1 はじめに
- 2 先行研究
- 3 調査概要
- 4 ヤル・アゲルの用例数
- 5 ヤル・アゲルの用法
- 6 考察

# 1. はじめに

## やる or あげる

1. **自分の子どもに** 小遣いを \_\_\_\_\_。
2. **ペットに** エサを \_\_\_\_\_。
3. **植物に** 水を \_\_\_\_\_。
4. **相手選手に** 点を \_\_\_\_\_。

【滝島・山下・塩田(2019)から】



滝島・山下・塩田(2019)の調査によると、

1~3において「あげる」は「おかしくない・使う」と答えた人は

**70%** 以上もいた。

いつ**ヤル**から**アゲル**へ変化したのか・・・？

## 2. 先行研究

平安

ヤル

**移送用法** 古川(1995)  
そのうち、こなた、かなたより、文などやり給ふべし。  
(『源氏物語』末摘花)

鎌倉

**授与用法** 古川(1995)  
「いかで。鉢をやりてこそうけめ」とて、人々制しとゞめけり。  
(『宇治拾遺物語』)

江戸

**行為用法** 豊田(2017)  
あにハア村中の若いふとたちが、楽屋さア宛こんで、  
らんごくをやるとおもひなさる。(『東海道中膝栗毛』 四篇上)

アゲル

**奉納用法** 『日本国語大辞典』  
鶴の林「御忌の程、関白殿、日ごとに法華經一部、  
阿彌陀經数多、經一偈(げ)をあげさせ給て」(栄花物語)

**献上用法(義務)** 荻野(2020)  
(津の国の百姓)御年貢に上まらする  
(虎明・かくすい)

**献上用法(任意)** 荻野(2020)  
(文六は)今度もちょっと口付けて憚ながら叔母様へ。  
あげませうと差す所を (近松・堀川波鼓〈1707〉)

近代以降の動向が不明

現代

**授与用法(無償)** 日高(2007)  
太郎が次郎に本をあげる。  
(作例)

### 3. 調査概要

調査方法

青空文庫

全文検索システムひまわり(形態素解析結果追加パッケージ)を使用

検索条件

ヤル… 基本形 [や遣] る (正規表現)  
アゲル… 基本形 [あ上] げる (正規表現)

※上記の検索条件に加え、Excel上でも基本形などの条件を絞っている。

これらの条件で検索したのち、ランダムに300例抽出

分類方法

	ヤル	アゲル
1	移送用法	奉納用法
2	<b>授与用法</b>	授与用法(義務)
3	行為用法	<b>授与用法(無償)</b>
4	補助動詞	補助動詞
5	その他	その他
6	該当無し	該当無し

受け手・与え手・第三者の **名前、属性、性別** を記載

# 4. ヤルの用例数

実数	移送用法	授与用法	行為用法	補助動詞	その他	該当無し	合計
1894-1899	-	-	-	1(11%)	-	8(89%)	9
1900-1909	-	5(20%)	9(36%)	3(12%)	-	8(32%)	25
1910-1919	2(7%)	2(7%)	6(21%)	3(11%)	-	15(54%)	28
1920-1929	4(8%)	8(15%)	21(40%)	6(12%)	-	13(25%)	52
1930-1939	4(5%)	9(10%)	41(48%)	2(2%)	1(1%)	29(34%)	86
1940-1949	3(7%)	1(2%)	23(52%)	1(2%)	-	16(36%)	44
1950-1959	4(9%)	2(4%)	20(43%)	1(2%)	1(2%)	18(39%)	46
1960-	1(11%)	-	3(33%)	-	-	5(56%)	9
不明	-	-	1(100%)	-	-	-	1
計	18(6%)	27(9%)	124(41%)	17(6%)	2(1%)	112(37%)	300
推定	移送用法	授与用法	行為用法	補助動詞	その他	該当無し	合計
1894-1899	-	-	-	139.28	-	1114.27	1253.55
1900-1909	-	696.42	1253.55	417.85	-	1114.27	3482.08
1910-1919	278.57	278.57	835.70	417.85	-	2089.25	3899.93
1920-1929	557.13	1114.27	2924.95	835.70	-	1810.68	7242.73
1930-1939	557.13	1253.55	5710.62	278.57	139.28	4039.22	11978.37
1940-1949	417.85	139.28	3203.52	139.28	-	2228.53	6128.47
1950-1959	557.13	278.57	2785.67	139.28	139.28	2507.10	6407.03
1960-	139.28	-	417.85	-	-	696.42	1253.55
不明	-	-	139.28	-	-	-	139.28
計	2507.10	3760.65	17271.13	2367.82	278.57	15599.73	41785

## 移送用法

K氏は私の話をきくと、すぐ人を遣って私の家に電報を打たせた。

(小山清『遁走』)

## 授与用法

叔父さんは俊夫君が、この次の難問題を解決したら、ご褒美にやろうと約束しました。

(小酒井不木『紅色ダイヤ』)

## 行為用法

近頃君も煙草をやるのか、君は煙草をやらぬ様に思っていた

(伊藤左千夫『浜菊』)

## 補助動詞

向が悪い人やったらこっちかって利用してやらんと損やわ。

(谷崎潤一郎『卍』)

推定値をみてみると・・・

授与用法では**1940年**から数が減少

# 4. アゲルの用例数

実数	奉納用法	授与(義務)	授与(無償)	補助動詞	その他	該当無し	合計
1890-1899	-	-	1(25%)	1(25%)	-	2(50%)	4
1900-1909	-	-	1(8%)	-	-	12(92%)	13
1910-1919	-	-	2(8%)	2(8%)	-	22(85%)	26
1920-1929	1(2%)	-	4(8%)	3(6%)	-	40(83%)	48
1930-1939	-	-	5(5%)	5(5%)	1(1%)	85(89%)	96
1940-1949	1(2%)	-	2(4%)	-	-	45(94%)	48
1950-1959	1(2%)	-	2(4%)	4(7%)	-	47(87%)	54
1960-	-	-	1(11%)	-	-	8(89%)	9
不明	-	-	-	1(50%)	-	1(50%)	2
計	3(1%)	0(0%)	18(6%)	16(5%)	1(0%)	262(87%)	300
推定	奉納用法	授与(義務)	授与(無償)	補助動詞	その他	該当無し	合計
1894-1899	-	-	71.15	71.15	-	142.29	284.59
1900-1909	-	-	71.15	-	-	853.76	924.91
1910-1919	-	-	142.29	142.29	-	1565.23	1849.81
1920-1929	71.15	-	284.59	213.44	-	2845.87	3415.04
1930-1939	-	-	355.73	355.73	71.15	6047.47	6830.08
1940-1949	71.15	-	142.29	-	-	3201.60	3415.04
1950-1959	71.15	-	142.29	284.59	-	3343.89	3841.92
1960-	-	-	71.15	-	-	569.17	640.32
不明	-	-	-	71.15	-	71.15	142.29
計	213.44	0.00	1280.64	1138.35	71.15	18640.43	21344

## 奉納用法

そうだ、今日はおしおの母の三七日だ！  
仏壇にお灯でも**あげ**ているのだな

(森田草平『四十八人目』)

## 授与用法(無償)

もっと、どっさり**あげ**ますから、  
こちらへいらっしやい。

(江戸川乱歩『少年探偵団』)

## 補助動詞

御希望ならこの場で証明して**上げ**ても宜い

(佐々木邦『ぐうたら道中記』)

推定値をみてみると…

授与用法(無償)では**1910年**から数が増加

# 5. ヤル・アゲルの用法

近代のヤル・アゲルはどのように使用されているのか。

ヤル							
実数	人→人	人→動物	人→その他	動物→動物	その他→その他	不明	合計
1894-1899	-	-	-	-	-	-	0
1900-1909	4	-	-	-	-	-	4
1910-1919	1	1	-	-	-	-	2
1920-1929	3	1	3	-	-	1	8
1930-1939	9	-	-	-	-	-	9
1940-1949	1	-	-	-	-	-	1
1950-1959	2	-	-	-	-	-	2
1960-	-	-	-	-	-	-	0
不明	-	-	-	-	-	-	0
計	20	2	3	0	0	1	26

アゲル							
実数	人→人	人→動物	人→その他	動物→動物	その他→その他	不明	合計
1894-1899	1	-	-	-	-	-	1
1900-1909	1	-	-	-	-	-	1
1910-1919	2	-	-	-	-	-	2
1920-1929	4	-	-	-	-	-	4
1930-1939	4	-	-	1	-	-	5
1940-1949	2	-	-	-	-	-	2
1950-1959	2	-	-	-	-	-	2
1960-	1	-	-	-	-	-	1
不明	-	-	-	-	-	-	0
計	17	0	0	1	0	0	18

## 人から人

【多茂平→カメ(人名)】

「そうか。オレのはミソ漬だ。

ミソ漬のムスビがよければ、それをやるぞ。」  
(坂口安吾『落語・教祖列伝 神伝魚心流開祖』)

【ルミ子→ヤエ子】

「お前には、アドルムあげるよ。ねな！」

(坂口安吾『街はふるさと』)

## 人から動物

【人→鯉】

それで立ち上って、縁側に出て  
鯉に餌をやった。

(豊島与志雄『楠の話』)

## 人からその他

【人→アネモネ】

「日あたりに出してやって、一日に二度も  
水をやればいいですか？」と、大学生は、  
きいていました。

(小川未明『花と人の話』)

ヤルは人以外の授与がみられるが、アゲルは人のみ

## 6. 考察

### 用例数の比較

1930年代まではヤルの使用が多く、  
1940年代以降、アゲルの方が多いい年がある。

➡ **1940年代以降、アゲルが優勢になったのではないか**

### 用法の比較

**現代**：ペットや植物に対してアゲル使用が許容される。  
**近代**：ヤルは**人以外**の授与がみられるが、アゲルは**人のみ**。

➡ アゲルの人以外の使用は少なくとも**1960年代以降**

#### 【参考文献】

荻野千砂子(2020)「近世前期の授受表現の諸相—トラス、アゲルを中心に—」『日本語用論フォーラム3』ひつじ書房

古川俊雄(1995)「授受動詞「くれる」「やる」の史的変遷」『広島大学教育学部紀要第2部』44、広島大学

滝島雅子・山下洋子・塩田雄大(2019)「相手選手に点を“あげて”しまってもよいのか—2019年「日本語のゆれに関する調査」から—」『放送研究と調査』69-11、NHK放送文化研究所

豊田圭子(2017)「近世期以降における「ヤル」の多義性と〈行為をする〉用法の成立」『国語語彙史の研究 36』和泉書院

日高水穂(2007)『授与動詞の対照方言学的研究』ひつじ書房

#### 【参考資料】

『日本国語大辞典 第二版』小学館

山口昌也(2024)『全文検索システム「ひまわり」』『青空文庫』パッケージ、形態素解析結果追加パッケージ、<https://csd.ninjal.ac.jp/lrc/index.php?aozora>